

新規事業採択時評価結果（平成15年度 新規事業化予定箇所）

事業名	一般国道57号 <small>くまもとびがし</small> 熊本東バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 九州地方整備局
起終点	自：熊本県熊本市新南部 至：熊本県熊本市近見町	延長	9.7 km		

事業概要

一般国道57号は、大分市を起点とし、熊本市を経て長崎市に至る延長約205kmの主要幹線道路であり、九州の骨格となる重要な幹線道路である。熊本東バイパスは、一般国道3号熊本北バイパス等と一体となって、熊本市の環状道路の一部を構成する区間からなる延長9.7kmの6車線道路である。

事業の目的、必要性

熊本東バイパスの6車線道路事業は、熊本都市圏の交通渋滞を緩和し、交通円滑化を図るとともに、騒音等による沿道環境の改善及び地域の活性化に大きく寄与するものである。

全体事業費	43億円	計画交通量	67,400台/日	
費用便益比	B/C	総費用	総便益	基準年
	12.4	76億円 事業費：40億円 維持管理費：36億円	939億円 走行時間短縮便益：913億円 走行費用減少便益：30億円 交通事故減少便益：-4億円	平成15年

事業の効果等

- I - (3) 中心市街地の活性化（中心市街地へ至る現道の混雑度1.0以上が改善される）
- II - (1) 都市圏の交通円滑化の推進（主要渋滞ポイントである新南部交差点を含む8交差点の渋滞が緩和される）
- III - (2) 良好な環境の保全・形成（夜間騒音要請限度を超過している神水地先の騒音レベルが低下される）
その他7項目

関係する地方公共団体等の意見

熊本東バイパスは、交通混雑の緩和、沿道環境の改善など重要な役割を果たす道路として期待されており、熊本市をはじめとする関係2市8町の首長で構成される熊本環状道路建設促進期成会より早期整備の要望（平成14年11月26日）を受けている。

事業概要図

